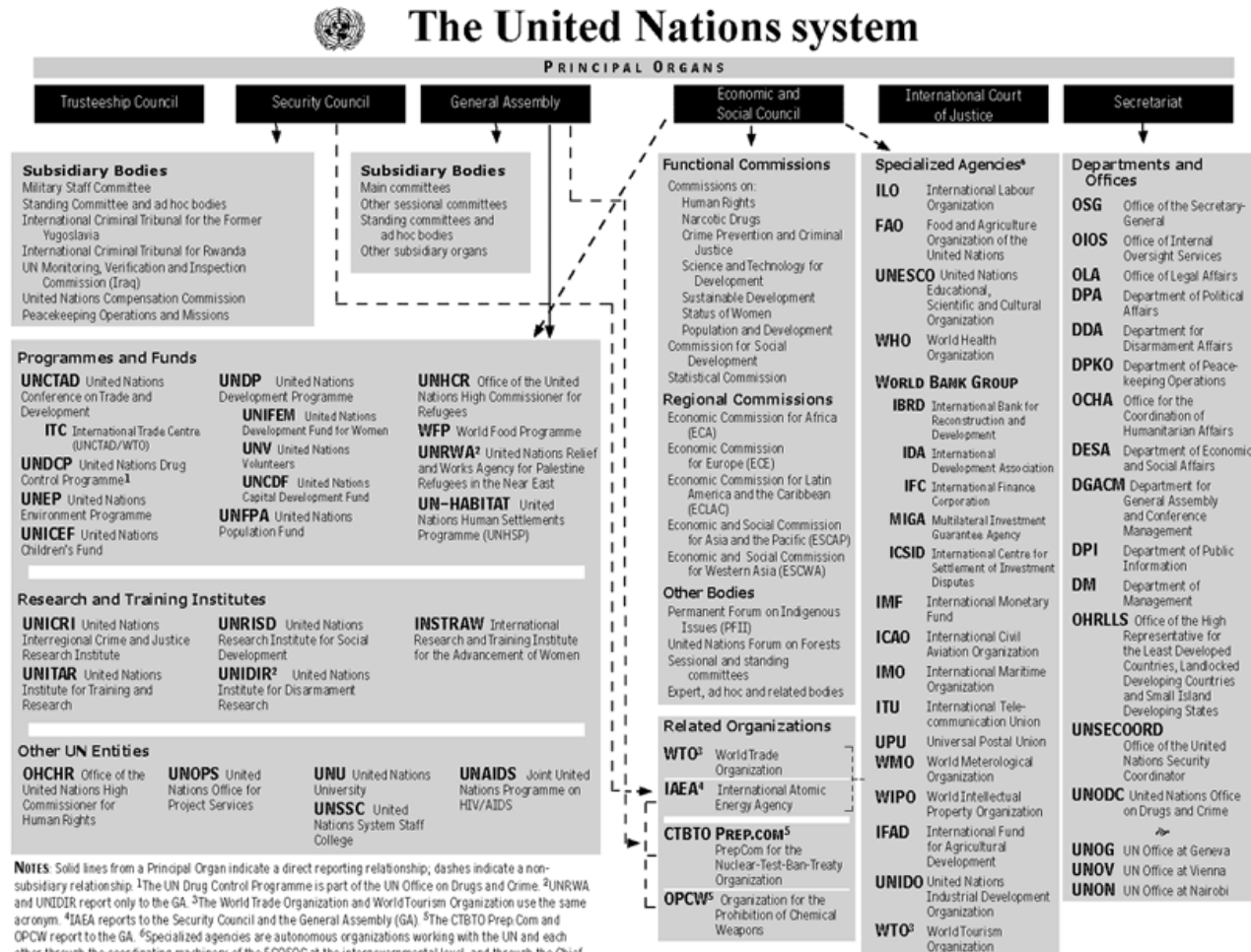


IFSDに関する議論 - 概要

I CSD/ECOSOCの改組・強化

II UNEPの改組・強化



IFSDに関する議論-概要

I ECOSOC/Commission on Sustainable Development(CSD) の改革・強化

① Sustainable Development Council (SD Council) の創設	② 既存のCSDの強化 ECOSOCの改革
<p>◆ Swiss、Norway</p> <p>◆ Korea</p>	<p>◆ EU (SDCも、ECOSOC内にCouncilを作る案も)</p> <p>◆ G77,US,Canada</p> <p>◆ Japan</p> <p>◆ Mexico</p> <p>◆ Russia</p>

論点・視点

- ・社会的・人権的公益性が十分に反映されない
- ・大臣会合を開催するなどの多様な案
- ・non state actor の参加、情報アクセス (EU、Norway積極的)
- ・national councils for sustainable development という提案も

IFSDに関する議論-概要

II UNEPの強化

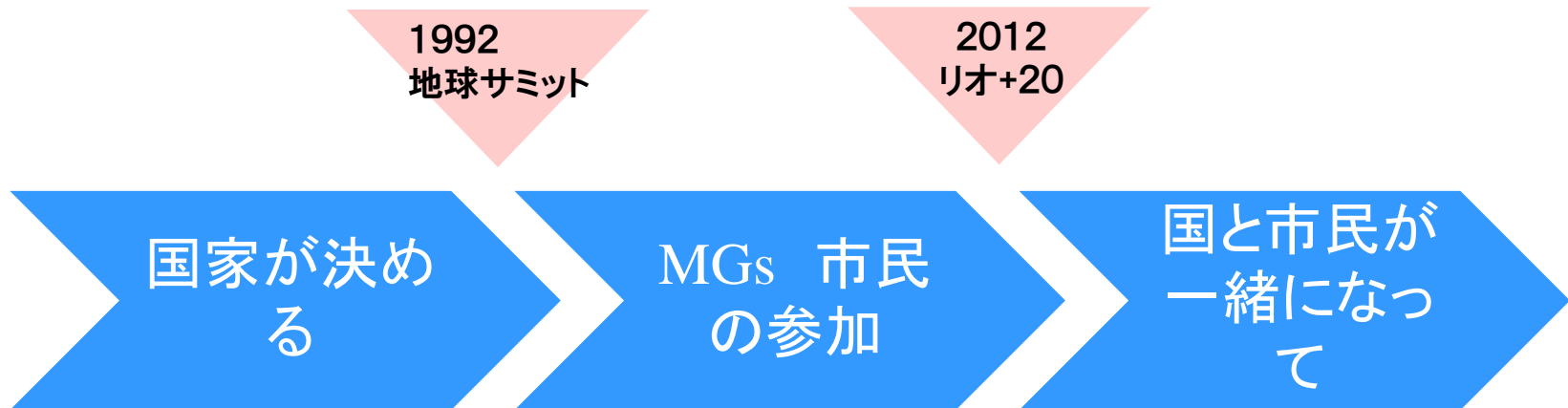
① 専門機関化(例: World Environment Organization)の創設	② UNEPの強化
◆EU,	◆G77 (保留) ◆Japan (まずは、強化から、 長期的には専門機関 化も視野に入れても よいが) ◆USA (今のほうが効率的) ◆Russia、Canada

論点・視点

- ◆G77・ChinaはInternational Financial Institutionsに関心。(資金増加、世銀改革等)
- ◆管理理事会(58か国での決定・国連総会で報告)→Universal membership
(EU反対、Norway、日本賛成)
- ◆設置地域 UNEP(ナイロビ)をEUにもっていかれるのでは？

IFSDに関する議論-概要

IFSDに対するCSOの論点(主にUK NGO Stakeholders Forumが中心に提案)



Who will create the future?

⇒ Non state actorが stateと同じ立場に
= 市民も一緒につくる社会へ

その他の主張ポイント

- ・3 pillars(環境、社会、経済)となっているのか。Pillarではなくお互いに包含された内容に反論/批判/
- ・市民参加が国際交渉(UN)への参加という意味合いに限定。草の根からの声という文脈ではない。
- ・現実的か(MGs内でどのように意思決定をするのか。既得権益のある団体…)
- ・リオ+20のプロセスでは、交渉文章の同時共有:○、非公式会合では発言権なし
- ・Local governmentもstateと同じステータスが欲しい

Future Generationの声を…

High Commissioner for Future Generation

(将来世代のため高等弁務官事務所) / Ombudsperson

① High Commissioner 創設賛成

② 反対

◆ EU、
Canada、
バチカン

◆ Norway

←◆ Japan
(既に様々な機関がある。
新たな資金が必要)

◆ Russia、NZ

◆ G77

◆ US ?

- ・MGsのユース、女性、NGOなどが広く支持。
- ・例) 難民高等弁務官事務所

環境パートナーシップ会 (EPC)
北橋みどり
kitahashi@epc.or.jp